

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2373200472
事業所名	せんねん村グループホーム 矢曾根せんりょう まんりょう

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 自治会に加入し、回覧板で地域の情報を入手し、総会への出席や町内の清掃、自主防災訓練、小学校での催し物などに積極的に参加している。回覧板は入居者と一緒に手渡しで届けている。ホームの夏祭りや餅つき会、起震車使用の防災教育訓練の開催などを回覧板で知らせ、地域の人達に参加してもらうなど、地域との関係が構築されている。また、散歩時には言葉を交わし、畑の作物を頂くなど顔馴染みになっている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 会議は年6回奇数月に開催し、メンバーは家族、町内会長、民生委員、市長寿課、地域包括支援センター職員、ホーム職員で構成されている。議題は活動報告を中心に、入居者状況、毎月の防災訓練と防災対策、行事予定、外部評価などで、意見交換が行われ、出された意見や提案は、速やかに運営に反映させるよう取り組んでいる。ホームでの暮らしをスライドで見てもらい、入居者の様子やホームの活動状況の理解が得られている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 市の担当者とは、電話やメールで相談し、提案、指導を受けるなど良好な関係が構築されている。地域包括支援センターとは、困難事例や成年後見人制度の利用について相談、指導を受け関係を密にしている。また、市内中学校から福祉体験の実習生を受け入れており、認知症介護リーダー研修の実習も受け入れるなど協働に努めている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） ホーム行事に合わせ今年度は4回、家族が集う機会を設け、多くの家族の参加があり、交流の場となっている。家族の訪問は多く、職員が必ず対応し、意見や要望の把握に努め、運営に反映させている。意見箱を設置し、誰でも意見やアイデアを出しやすいようにしている。毎月、ホーム便り「せんりょう・まんりょうの実」を発行し、担当職員の一言を添えて送付し、入居者の日々の様子を伝え、家族の安心を得ている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。		○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	○	○	○			

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。